

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 6 年 3 月 27 日(2024.3.27)

【公開番号】特開 2023-69706(P2023-69706A)  
【公開日】令和 5 年 5 月 18 日(2023.5.18)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-091  
【出願番号】特願 2021-181776(P2021-181776)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/641(2006.01)

10

H 0 1 R 13/42(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/641

H 0 1 R 13/42 E

H 0 1 R 13/42 F

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 3 月 18 日(2024.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

また、凹部 162 に肉薄部 165 を設けることにより、肉薄部 165 を介して雌ハウジング 134 の左側壁と本体部 161 とを接続することができるから、雌ハウジング 134 の左側壁に対して本体部 161 を直接接続しなくてもよい。したがって、本体部 161 を雌ハウジング 134 の左側壁と接続することなく、雌ハウジング 134 の左側壁に対して島状に形成することが可能である。一方、実施形態 1 では、図 15 に示すように、凹部 62 は貫通孔 63 であるから、本体部 61 を雌ハウジング 34 の左側壁に直接接続する必要がある。このように実施形態 2 では凹部 162 を肉薄部 165 とすることにより、実施形態 1 と比較してコード 164 の設計自由度を向上させることができる。

30

40

50